

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（平成27年法律第64号）第19条第6項の規定に基づき、次のとおり特定事業主行動計画（特定事業主が実施する女性の職業生活における活躍の推進に関する取り組みに関する計画をいう。以下同じ）に基づく取り組みの実施の状況を公表する。

令和3年3月1日

石巻地区広域行政事務組合消防長

1 石巻地区広域行政事務組合消防本部に関する特定事業主行動計画に定めた取り組みの内容に対する令和2年度の実施状況については、次のとおり。

(1) 女性受験者、合格者の拡大に向けた取り組み（ガイダンスの実施）

石巻駅前・陸前山下駅前での採用者募集街頭キャンペーン実施（令和2年6月）

※ 新型コロナウイルス感染症の影響によりガイダンス等は中止となった。

(2) 目標達成のための広報

女性消防吏員の受験者拡大を啓発したポスターの作成と掲示及びホームページへの掲載（令和2年5月）

(3) 目標達成のための任用に関する規定の見直し

令和2年度は任用規程の一部改正を行った。改正内容については、比較的女性が消防を受験する割合が高い専門学校専門課程（救急救命士過程）卒の受験生確保を図るため採用基準等を見直しを行った。

(4) 女性消防吏員の職域拡大に向けた取り組み

女性消防吏員の結婚、出産をサポートするため、平成28年度に消防本部内勤職域を増設。以降、女性消防吏員の職域確保については、随時必要な対応を維持している。

(5) 条例定数の見直し

条例定数の範囲内で女性消防吏員採用枠を確保しつつ、採用試験を実施した。

(6) 女性消防吏員が活躍できる職場環境の整備

ア 施設庁舎の整備

総務課長巡視を実施（令和2年4月）し、施設庁舎の現状を把握した上で、女性消防吏員が勤務しやすい施設庁舎環境の整備を行った。また、東松島消防署と女川消防署の新庁舎に女性スペースを確保し職務環境の整備を図った。

イ 各種ハラスメントに係る職場研修

補佐等会議等において各種ハラスメント防止に係る周知を行うとともに、全所属に対してハラスメント対策図書（「ハラスメントの加害者・被害者にならないために」）を配布し、啓発を行った。

ウ 女性消防吏員に対する職場環境に関するヒアリング

女性消防吏員5名全員に対し個別に面談、ヒアリングを実施（令和2年8月）し、職場環境等について聞き取りを行った。

エ 職場における女性の活躍推進についての研修

消防大学校「女性活躍推進コース」（令和2年12月）へ女性消防吏員1名を入校させた。

2 令和2年度における、採用職員に占める女性消防吏員の割合及び採用試験受験者の女性割合

	採用試験受験者の女性割合	採用職員に占める女性割合	採用人員
目標		5.00%以上	女性1人以上
令和2年度	2%	0%	男性5人 女性0人

3 令和2年4月1日現在における現状

- (1) 消防吏員に占める女性消防吏員の割合 1.41%  
(全消防吏員355名、うち女性5名)
- (2) 勤続年数男女比較 男性平均17.58年 女性平均 8.60年
- (3) 平均年齢男女比較 男性平均36.83年 女性平均28.20年
- (4) 勤務状況及び管理職の男女別比較

	男性	女性	摘要
隔日勤務	83.09%	60.00%	
毎日勤務	16.91%	40.00%	
管理職員	100.00%	0.00%	管理職員の平均年齢 54.35年

4 まとめ

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定をしていたが実施できなかった取組（ONE DAY インターンシップ、就職ガイダンス等）があったものの、感染防止対策を取りつつ実施できる取組（街頭キャンペーン等）を行った。採用試験の応募者は全51名中女性の応募者は1名のみであり、女性の採用者は0名であった。このことから、次年度以降の啓発広報については、これまで以上に創意工夫を行い受験者拡大に取り組む必要がある。また、令和7年度末までに当消防本部が掲げる目標（採用職員に占める女性の割合：5%以上）どおり女性消防吏員を採用することができたとしても、全職員の占める女性の比率は、約1.7%程度にとどまることから、少なくとも200人規模の消防本部の目標数値として提示されている、3.2%（女性消防吏員12名）を上回るよう、令和3年度を目途に特定事業主行動計画を見直すものとする。

女性消防吏員が活躍できる職場環境の整備については、平成28年度において女性の活躍できる職域（毎日勤務職員数名分）を拡大したことにより、結婚、妊娠をした女性消防吏員を適切な部署へ配置する体制を整え、令和2年度もその体制を維持した。今後、女性消防吏員が増加した場合には、更なる職域拡大を検討していく。

女性消防吏員が勤務できる施設庁舎等の整備については、令和2年度は東松島消防署と女川消防署の新庁舎に女性スペースを確保した。また今後建設が予定されている河北消防署については女性消防吏員の意見を取り入れ、より勤務しやすい施設庁舎となるように検討を重ねていく。さらに、被服関係については、妊娠した女性職員用のマタニティー執務服を平成30年度に導入し、女性のライフイベントに対しても随時対応している。

また、妊娠中の女性職員等に対する職場のサポートも随時行いながら、女性消防吏員全員のヒアリングを実施し、それぞれのライフステージに応じた人事上の配慮を行った。